

J F A アカデミー福島の状況

1. 目的

全寮制の中高一貫教育により、世界に通用するサッカー選手を育成する

- ◆ 平成18年度からスタートした「双葉地区教育構想」の中で、日本サッカー協会と連携し「世界基準」をキーワードとし、チーム強化ではなく、あくまでも個を育成すること目的とした中高一貫教育による人材育成プログラム。
- ◆ ロジング形式（寄宿制）による中高一貫教育により、能力の高い者に良い指導、良い環境を与え、長期的視野に立ち、集中的に育成する。
- ◆ サッカーばかりでなく、人間的な面の教育も重視し、社会をリードしていける真の世界基準の人材を育成する。
- ◆ 現在は、東日本大震災による原発事故の影響により静岡県御殿場市の時之栖に活動拠点を一時移転している。

2. 沿革

平成16年 9月 日本サッカー協会から福島県に対して人材育成プログラムの提案。

11月 県の関係部署及び地元町教育委員会、地元中高校による「双葉地区教育構想検討協議会（後に「双葉地区教育構想推進会議」へ発展）を設置。

平成17年 3月 「双葉地区教育構想基本方針」を策定。

平成18年 4月 J F A アカデミー福島開校。

3. 概要

(1) 在籍生徒数（H26.4.7現在）

【卒校生】

学年	男子（本県）	女子（本県）
高3（4期生）	13（1）	5（0）
高2（5期生）	10（0）	7（1）
高1（6期生）	14（1）	7（1）
中3（7期生）	16（1）	6（0）
中2（8期生）	16（0）	5（1）
中1（9期生）	16（0）	6（0）
計	85（3）	36（3）

男子：41名（3名）

女子：33名（1名）